



**LANdeVOICE PB402-SIP**

*A2 Corporation*

# 安全上のご注意



ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入頂いた製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

お客様または第三者が被った下記すべての損害について、当社および販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。




- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当社は本製品に関し、海外の保守サービスおよび、技術サポート等を行っていません。



## 使用している表示と絵記号の意味

 <b>警告</b>	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しております。

 発火注意	特定の条件において、発煙または発火の可能性があることを示します。	 感電注意	特定の条件において、感電の可能性のあることを示します。
 けが注意	特定の条件において、怪我を負う可能性があることを示します。		










お守り頂く内容の種類を、次の表示で区分しております。

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制指示	この表示は、必ず実行して頂く「強制」内容です。


 **警告** 火災・感電・けがを防ぐために


 **感電注意**

 **発火注意**

 禁止	電源コードやACアダプタを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしないでください。破損し、火災、感電の原因となります。
 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。また、AC100V～240V以外での使用はしないでください。異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。
 禁止	本製品(付属品含む)の分解や改造、修理は行わないでください。火災や感電の原因となります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
 禁止	本製品(付属品含む)に濡れた手で触れないでください。電源が入っているときは感電の恐れがあります。また、電源が入っていても、故障の原因となります。
 強制指示	ACアダプタはコンセントに完全に差し込んでください。差込が不完全のまま使用すると、ショートしたりし、発熱や発煙、火災の原因となります。抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。
 強制指示	ACアダプタを使用する場合は必ず付属品をお使いください。また、本製品に付属のACアダプタがある場合、他の製品には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
 強制指示	VCCI適合機器については、付属のACアダプタをAC100Vで使用してください。それ以上の電圧で使用する場合にはお問い合わせください。
 強制指示	次の場合は使用を中止してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 液体や異物などが内部に入ってしまったとき</li> <li>・ 煙、異臭、異音が出たとき</li> </ul>
 強制指示	取り付け取り外しの際は、必ず電源を抜いてください。感電や故障の原因となります。





 **注意**


 **落雷注意**


 禁止	雷が鳴ったら本製品や電源コード、接続されているケーブル類には触れず、他機器の取り付け/取り外し等も行わないでください。落雷による感電の原因となります。
---	---

 **感電注意**


 **発火注意**

 禁止	本製品(付属品含む)は精密機器のため、次のような場所で設置、保管、使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湿気や湯気の多いところや漏水のあるところ</li> <li>・ 急激な温度変化のあるところ(結露するようなどころ)</li> <li>・ 油煙、ほこりの多いところ</li> <li>・ 火気の周辺又は熱気のこもるところ</li> <li>・ 保温性、保湿性の高いところ</li> <li>・ 漏電のあるところ</li> <li>・ 強い磁界が発生するところ</li> <li>・ 静電気が発生するところ</li> <li>・ 直射日光があたる場所</li> <li>・ 暖房器具の近くなどの高温になる場所</li> <li>・ 振動の激しい場所</li> <li>・ 腐食ガスが発生する場所</li> </ul>
 禁止	他の機器と密着させたり、本製品の上に物を置いたりしないでください。故障の原因となります。
 禁止	強い衝撃を与えないでください。 本製品は精密機器のため、落としたり強い衝撃を与えたりしてしまうと、故障の原因となります。
 強制指示	本製品(付属品含む)のほこりなどは定期的にとってください。 湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。




 けが注意

 強制指示	本製品(付属品含む)は小さなお子様の手が届きにくい場所に設置、保管してください。
---	--

設置について

以下の場合には、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」をご使用頂 けます。	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本製品を壁掛け設置する場合</li><li>・ 本製品を単独で平置きする際に固定したい場合</li></ul>	
 強制指示	以下の場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用してくだ さい。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本製品を平置き段積みする場合 ※本キットを使用せずに本製品を段積みして使用すると、製品内部 からの放熱ができなくなり、発熱の原因となります。</li></ul>

その他

 禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品(付属品含む)を拭かないでく ださい。 汚れた場合は乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時はきれ いな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。 ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対に拭か ないでください。
 強制指示	静電気を除去してから触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本製品(付属品含む)に触れる前にドアノ ブやアルミサッシ等、身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くよ うにしてください。人体からの静電気は、本製品(付属品含む)を破損また はデータの消失、破損させる恐れがあります。
 強制指示	本製品(付属品含む)に接続する機器の取扱いは、各メーカーが定める 手順(取扱説明書など)に従ってください。

# はじめに

このたびは、LANdeVOICE PB402-SIP(本製品)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品は、通話による音声のやり取りをネットワーク(IPネットワーク)を介して行う装置です。



本書は、本製品を正しくご利用頂くための手引です。ご使用前に必ず本書をよくお読み頂き、安全に使用でき、かつ本来の性能を十分に発揮できますよう、正しくお取り扱いください。

お読みになったあとは、必要な時にいつでもご覧頂けるように、大切に保管してください。

本製品に関する最新情報(ソフトウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

## 本書の表記について

 注意	操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。
 メモ	この表示は、本製品を十分にご活用頂くための補足事項や参考となる情報を説明しています。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- LANdeVOICE は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される戦略物資(または役務)には該当しません。
- Windows および Windows 11 は米国 Microsoft 社の商標です。
- LANdeVOICE は株式会社エイツ一の登録商標です。

# 目次

<b>安全上のご注意</b>	<b>2</b>
<b>はじめに</b>	<b>6</b>
<b>目次</b>	<b>7</b>
<b>第1章 お使いになる前にお読みください</b>	<b>8</b>
付属品の確認.....	9
各部の名称と働き.....	9
LED表示.....	11
免責事項.....	15
<b>第2章 設置と接続</b>	<b>16</b>
設置する.....	17
電源を入れる.....	17
LANケーブルを接続する.....	17
電話機を接続する場合.....	18
交換機(PBX)へ接続する場合.....	18
接点入力のある機器を接続する場合.....	18
<b>第3章 設定方法</b>	<b>19</b>
設定画面ログイン方法.....	20
設定画面について.....	24
設定画面のメニューについて.....	25
初期化の方法.....	27
<b>第4章 設定ファイル一覧</b>	<b>28</b>
基本設定ファイル(netcnfg.ini).....	29
システム設定ファイル(syscnfg.ini).....	31
電話番号設定ファイル(phone.ini).....	39
アクション設定ファイル(action.ini).....	40
<b>第5章 使用例</b>	<b>43</b>
基本的な運用.....	44
ホットライン発信.....	45
通話中にDTMF信号で接点出力制御.....	46
時間外留守応答.....	47
<b>第6章 製品仕様</b>	<b>48</b>
<b>付録</b>	<b>50</b>
付録1 コーデック(音声圧縮方式)とは.....	51
付録2 使用帯域.....	51
付録3 ファイル送信による設定について.....	52
付録4 交換機(PBX)接続時の設定について.....	56
付録5 FAX接続時の設定について.....	57
付録6 DHCP設定の場合について.....	58
付録7 修理について.....	58
付録8 パソコンのネットワーク設定について.....	59

---

# 第1章 お使いになる前にお読みください

---

この章では、PB402-SIP の各部の名称と働きなどについて説明します。

- 付属品の確認
- 各部の名称と働き
  - 1 前面
  - 2 背面
- LED表示
  - 1 端末状態のLED表示
  - 2 STATUS LED表示
  - 3 ch.1/ch.2 LED表示
- 免責事項

## 付属品の確認

PB402-SIPをご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げ頂いた販売店または代理店までご連絡ください。

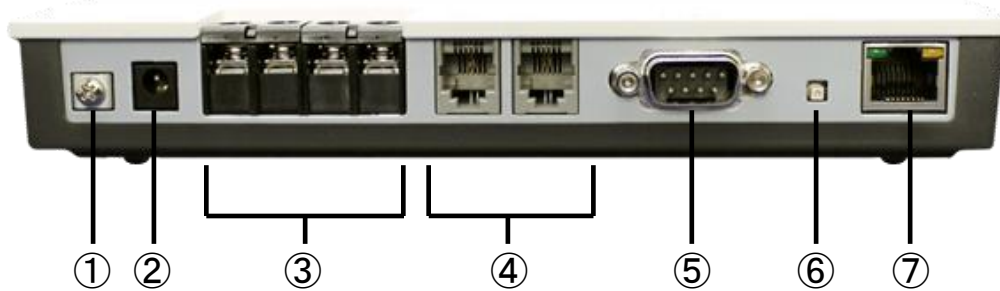
- LANdeVOICE PB402-SIP本体
- ACアダプタ（専用アダプタ 9V 1A）
- LANケーブル（ストレート 3m）
- 保証書
- シリアルシール

## 各部の名称と働き

### 1 前面



## 2 背面



- ① F.G.  
接地(アース)端子(M3 ネジ) ※接続推奨
- ② DC-IN  
付属の AC アダプタを接続
- ③ C.OUT1/C.OUT2  
接点出力端子(M4 ネジ式端子台、+-の区別なし)
- ④ ch.1/ch.2  
RJ-11(アナログ電話機、FAX、PBX の COT と接続)  
※FAX は必ず接続検証を行ってください。  
設定については P.57 をご参照ください。  
※PBX に接続する場合は特殊な設定が必要です。  
必ず P.56 をご覧ください。
- ⑤ COM  
シリアルポート ※ユーザは使用しません
- ⑥ SW  
プッシュスイッチ  
機能 1: 約 10 秒以上長押しで初期化(P.27 参照)  
機能 2: 3 回連続押し(0.5 秒程度間隔)でログを保全しながら再起動
- ⑦ LAN  
RJ-45 ネットワークケーブル(10BASE-T/100BASE-TX)を接続

## LED 表示

### 1 端末状態の LED 表示

「STATUS」「ch.1」「ch.2」が同時に動作する時は、以下の端末状態を表します。

LED表示			PB402-SIPの状態
STATUS	ch.1	ch.2	
消灯	消灯	消灯	電源OFF
電源を入れてから約 10 秒後に全LEDが白点灯し、全LEDが一旦消灯			電源投入時
青点灯	青点灯	青点灯	待機状態 (ch.1、ch.2 使用時かつSIPサーバへレジストできている時)
赤速点滅	赤速点滅	赤速点滅	再起動中
白速点滅	白速点滅	白速点滅	設定画面左上「点滅」ボタン押下時 (3 秒間点滅) ※複数台の端末を同時に設定する場合に設定中の端末を確認可能
赤速点滅	消灯	消灯	・DHCP設定でのIPアドレス未取得時 ・DNSサーバに接続できない ※注 1
赤遅点滅	赤遅点滅	赤遅点滅	異常時 1 (ハードウェアに関する異常を検出)
橙点灯	橙点灯	橙点灯	異常時 2 (ソフトウェアに関する異常を検出)

※注 1: システム設定ファイル(syscnfg.ini)の REGISTER1 をドメイン名で設定しても、基本設定ファイル(netcnfg.ini)の DNS1 および DNS2 に設定した DNS サーバに接続できない場合は、最長約 1 分間この LED 表示が継続します。



### メモ 異常時 1 および 2 の対処

端末状態のLEDが異常時 1 および 2 の状態を表しているときには、お客様では復旧できません。修理が必要となりますので、お手数ですが、お買い求め頂いた代理店または販売店へご連絡ください。

または、弊社Webサイトよりメールにてお問い合わせください。  
<https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

なお、機能追加等の理由でファームウェアのバージョンが更新され、予告なく仕様が変更されている場合があります。  
弊社Webサイトにて随時情報が更新されていますので、ご確認くださいませう、お願いいたします。

## 2 STATUS LED 表示

LED表示	PB402-SIPの状態
青点灯	待機状態
赤速点滅	DHCP設定でのIPアドレス未取得時
赤遅点滅	LANケーブルが接続されていない
橙速点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>・必要なファイルが存在しない</li><li>・設定ファイルの内容が間違っている</li></ul>

### 3 ch.1 / ch.2 LED 表示

ch.1 / ch.2	PB402-SIPの状態 (使用している回線のみ動作します)
青点灯	待機状態 SIPサーバへレジストできている
青遅点滅	SIPサーバへレジストできていない ※本状態が 35 分続くと、自動再起動します。
消灯	回線を使用しない設定になっている
赤遅点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終話もしくは、通話切断</li> <li>・発信先不明、通話中</li> <li>・発信先未登録</li> </ul>
橙遅点滅	・接続されたch.1 / ch.2 アナログ回線オフフック時
橙リング点滅※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IP回線発信時</li> <li>・IP回線着信時</li> </ul>
橙点灯	通話中

※リング点滅とは・・・呼出信号のパターンで点滅(1 秒:速い点滅 / 2 秒:消灯)

## 免責事項

PB402-SIPは他社製のSIPサーバやSIP端末と接続・通信するための機種ですが、全てのSIP環境での動作は保証できません。あらかじめご了承ください。

---

## 第2章 設置と接続

---

この章では、PB402-SIP の設置と接続の手順について説明します。  
設置する前に、P.2「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
手順としては、第3章の設定を先に行った方がスムーズな場合があります。

- 設置する
- 電源を入れる
- LANケーブルを接続する
- 電話機を接続する場合
- 交換機(PBX)へ接続する場合
- 接点入力のある機器を接続する場合

## 設置する

通常設置の場合は、PB402-SIPのゴム脚(滑り止めシール)が付いている面を下にして設置してください。

壁掛け設置をする場合や平置きで台に固定する場合は、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用することを推奨します。

平置き段積みする場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用して設置してください。

## 電源を入れる

- 1 PB402-SIPには電源スイッチはありません。ACアダプタのコネクタ部分を「DC-IN」に接続し、プラグ部分をコンセントに差し込むと電源が入ります。  
※アースの接続を推奨します。



- 2 PB402-SIPの電源を切るには、プラグ部分を電源コンセントから抜きます。

## LAN ケーブルを接続する

- 1 LANケーブルを「LAN」と書かれたポートに接続します。  
ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 2 LANケーブルの反対側をHUBまたはルータなどのネットワーク機器に接続してください。



### メモ LANポートのリンクランプを確認してください

PB402-SIPとネットワーク機器が正しく接続されている場合は、電源投入後にLANポートのリンクランプが点灯します。ご使用になる前にリンクランプが点灯しているかご確認ください。

接続状況	緑ランプ(左)	黄ランプ(右)
100BASE-TX でリンクアップ	点灯	点灯
10BASE-T でリンクアップ	点灯	消灯

## 電話機を接続する場合

- 1 PB402-SIPの「ch.1」「ch.2」と書かれたポートへ電話機コード(RJ-11 コネクタ、6 極 2 芯のモジュラーケーブル)を接続します。  
ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。  
「ch.1」： 1 回線目になります  
「ch.2」： 2 回線目になります
- 2 電話機コードの反対側を、電話機に接続します。  
受話器を上げてダイヤルトーンが聞こえるか確認してください。

## 交換機 (PBX) へ接続する場合

- 1 PB402-SIPの「ch.1」「ch.2」と書かれたポートへ電話機コード(RJ-11 コネクタ、6 極 2 芯のモジュラーケーブル)を接続します。  
ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。  
「ch.1」： 1 回線目になります  
「ch.2」： 2 回線目になります
- 2 電話機コードの反対側を、交換機(PBX)のCOTに接続します。  
交換機とPB402-SIPが正常に接続されているか確認してください。

※ 特殊な設定が必要になります。必ず P.56 をご覧ください。

※ COT(局線トランク、アナログ外線トランク)とは、通常 NTT の電話回線を接続するトランクです。どのインターフェースか分からない場合は、交換機の管理者に問い合わせるか、交換機の取扱説明書をご確認ください。

## 接点入力のある機器を接続する場合

PB402-SIPの「C.OUT1」もしくは「C.OUT2」と書かれたポートへ、接点入力のある機器を接続してください。  
回転ライト、電気錠等を接続できます。

---

## 第3章 設定方法

---

この章では、PB402-SIP を設定するための手順等について説明します。

- 設定画面ログイン方法
- 設定画面について
- 設定画面のメニューについて
- 初期化の方法



### メモ 設定方法について

PB402-SIPは、お客様のパソコンのWebブラウザより必要な設定をして頂きます。

設定変更の際は本書をよくお読みになり、正しく設定をしてください。

## 設定画面ログイン方法

PB402-SIPを設定するための、設定画面のログイン方法について説明します。

### 1 本体に添付のACアダプタとLANケーブルを接続します。

PB402-SIPのLANポートには Auto MDI/MDI-X機能 がないため、Auto MDI/MDI-X機能 がないパソコンと接続する場合はHUB経由で接続してください。  
直接接続したい場合はクロスケーブルで接続してください。

ACアダプタとLANケーブルの接続後、本体のLEDが待機状態になっているか確認をしてください。  
LEDについて(P.11)

### 【出荷時設定】

本体の IP アドレス(IP)	192.168.1.24
ネットマスク	24(255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ(ROUTER)	192.168.1.1
HTTP ポート番号(HTTPD_PORT)	8084
ユーザ名	admin <b>※変更不可</b>
パスワード(P.26 参照)	admin

### 注意 設定時の注意

- ・設定用のパソコンとPB402-SIPは、IPネットワーク(IPv4)で接続できる必要があります。パソコンのネットワーク設定をPB402-SIPに合わせ、同一セグメント内(推奨)から接続してください。 ※P.59 参照
- ・パスワードはセキュリティの観点から変更することを推奨いたします。パスワードは他人に知られないようにしてください。
- ・設定時には、本体のLEDが正常動作しているかご確認ください。PB402-SIPが通話中の場合に設定を変更すると、再起動が発生し通話が切断されますのでご注意ください。

2 パソコンのWebブラウザを起動します。

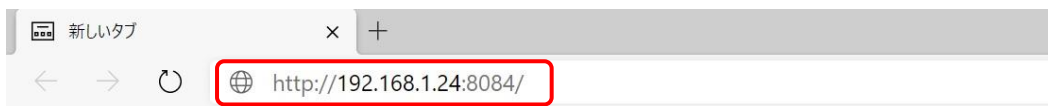
**【Webブラウザとは】**

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。  
弊社で動作確認済みのWebブラウザは、以下の通りです。

- ・Microsoft Edge
- ・Firefox
- ・Google Chrome

※WebブラウザのJavaScript機能を有効にしてご使用ください。

3 起動したら、Webブラウザのアドレスバーに「http://192.168.1.24:8084/」と入力し、[Enter]キーを押します。



http://192.168.1.24:8084/



※上記IPアドレスとポート番号は、出荷時設定値(初期設定値)です。  
設定を変更した場合は、設定後のIPアドレスとポート番号に置き換えてください。

- 4 ログイン画面になりましたら、ユーザ名とパスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。  
※ブラウザによって表記が異なります




The screenshot shows a login form with two input fields: 'ユーザー名' (Username) containing 'admin' and 'パスワード' (Password) containing masked characters '.....'. Below the fields are two buttons: 'サインイン' (Sign In) and 'キャンセル' (Cancel). A red box highlights the input fields and the 'サインイン' button.

ユーザ名 : admin  
パスワード : admin  
半角小文字で入力してください

 **注意** パスワードについて


ご購入時や初期化時は、パスワードが初期値となります。  
設定画面からパスワードを変更することができますので、セキュリティ上、パスワードを変更して使用することを推奨いたします。  
また、パスワードは他人に知られないようにしてください。

 **メモ** ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- ・ PB402-SIPのLEDが待機状態であるか
- ・ LANケーブルが奥までしっかりと接続されているか  
(ケーブルはカチッと音がするまで差し込んでください)
- ・ LANケーブルが接続されているHUB等のネットワーク機器のランプがアクティブな状態になっているか
- ・ 設定するパソコンのネットワーク設定が適切か
- ・ IPアドレスおよびポート番号の値が適切か
- ・ IPアドレスとポート番号の間が「:」(半角コロン)になっているか
- ・ パソコンのコマンドプロンプトより「ping 192.168.1.24」にて通信が確認できるか

5 下記のような画面が表示されたら、設定画面へのログイン完了です。



SN2016099 | PB402-SIP | SN2016099

LANdeVOICEをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
取扱説明書や最新のファームウェアは下記サイトをご確認ください。  
製造元：株式会社エイツー  
Webサイト：<https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

▶ PB402-SIP 設定画面

▶ 端末情報

端末名	SN2016099	<input type="button" value="点滅"/>
製品名	PB402-SIP	
SN	2016099	
MAC	00:10:43:14:3E:E3	
リリース	2.0.0	
ch.1	呼制御ポート番号	5060
	待機状態	<input type="button" value="更新"/>
ch.2	呼制御ポート番号	5060
	待機状態	<input type="button" value="更新"/>
音声ポート番号	40000 - 40031	

>

>

▶ 基本設定ファイル (netcnfg.ini)

変更したい箇所を直接書き換えて画面下部の"設定変更"ボタンを押してください。  
入力は全て半角文字を使用してください。

IPアドレス/ ネットマスク	<input type="text" value="192.168.1.24"/> / <input type="text" value="24 (255.255.255.0)"/>
デフォルト ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.1.1"/>
DNS1	<input type="text"/>
DNS2	<input type="text"/>
端末名	<input type="text" value="SN2016099"/> 半角英数字、ピリオド、ハイフンを使用できます。 最大20文字。
HTTPポート番号	<input type="text" value="8084"/> (0 - 65535) 0または空白を設定すると設定画面が開かなくなります。

## 設定画面について

設定画面については、以下のようになっています。  
 設定は、直接書き換えることができます。  
 「キャンセル」ボタンを押すと、変更内容をキャンセルします。

**端末情報**

**基本設定 (netcnfg.ini) 設定値については第4章に記載**

**基本設定 (netcnfg.ini) キャンセルボタン**

**設定画面メニュー**

**DHCPの場合等に、DNS接続先を確認できます**

**端末時刻設定**

**システム設定 (syscnfg.ini) 設定値については第4章に記載**

**システム設定 変更 キャンセルボタン**

**電話番号設定 変更 キャンセルボタン**

**実際に有効な電話番号設定内容を確認できます**

**アクション設定 変更 キャンセルボタン**

**設定変更ボタン**

設定ファイルを書き換えた後は、ページ下部にある「設定変更」ボタンを必ずクリックし、設定を反映させてください。

## 設定画面のメニューについて

設定画面のメニューについて説明します。

①	ログ確認	»
②	バックアップファイル作成	»
③	ファイル送信/ バックアップファイル復元	»
④	PING実行	»
⑤	ログイン用パスワード変更	»
⑥	工場出荷時設定	»
⑦	端末再起動	»

- ① ……現在の端末内部ログを取得(表示)します。
  - ・動作ログ(mlog):基本動作を記録したログです。
  - ・通信ログ(cchlog):呼制御動作を記録したログです。
  - ・解析ログ(elog):詳細動作を記録したログです(メーカー調査用)。
- ② ……設定ファイルやログをパソコンに保存します。  
設定完了後や修理を依頼いただく際は、バックアップファイルの作成・保存を推奨します。  
保存されたファイルは「.tgz形式(tar.gz形式)」で圧縮されています。  
(解凍ソフト例:Lhaplus)
- ③ ……パソコン上で作成した各種設定ファイルを端末に転送できます。  
ファームウェアのアップデートや、予め作成した設定ファイルなどを転送することができます。  
万一故障してしまい修理に出す場合なども、予めバックアップファイルを保存しておくことで、修理返却後に修理前の設定に戻すことができます。
- ④ ……IPアドレスを入力してpingを実行します。  
IPv4 アドレスのみです(ホスト名は不可)
- ⑤ ……設定画面ログイン時のパスワードを変更します(設定可能値は P.26 参照)。
- ⑥ ……PB402-SIPの工場出荷時設定が記載されています。  
ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックすると、基本設定ファイル(netcnfg.ini)以外の設定が全て工場出荷時設定に初期化されます。
- ⑦ ……端末を再起動します。  
(通話中の場合は通話が切断されます)

- 設定画面ログイン時のパスワードについて  
半角英数字、6種類の半角記号、合計5～8文字で設定可能です。  
※英字の大文字、小文字は区別されます

<設定可能値一覧>

1234567890
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
！（感嘆符）
#（番号記号）
%（パーセント）
&（アンパサンド）
@（単価記号）
_（アンダーバー）

## 初期化の方法

本体背面のSW(プッシュスイッチ)を約 10 秒以上長押しすると全LEDが赤速点滅し、自動的に再起動します。再起動後、以下の項目が出荷時設定となります。  
端末のIPアドレスやパスワードがわからなくなった場合は、この方法でログインすることができます。

- 基本設定ファイル(netcnfg.ini)の全項目
- admin ユーザのパスワード: admin

再起動後は、ブラウザに以下のURLを指定することによって設定画面にアクセスすることができるようになります。

<http://192.168.1.24:8084/>

※端末名の工場出荷時設定は端末のシリアルナンバー(SN)です。

※基本設定ファイル(netcnfg.ini)以外の設定を初期化する場合は、設定画面メニュー「工場出荷時設定」ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックしてください。

---

## 第4章 設定ファイル一覧

---

この章では、PB402-SIPを設定するための設定ファイルについて説明します。

- 基本設定ファイル(netcnfg.ini)
- システム設定ファイル(syscnfg.ini)
- 電話番号設定ファイル(phone.ini)
- アクション設定ファイル(action.ini)

## 基本設定ファイル (netcnfg.ini)

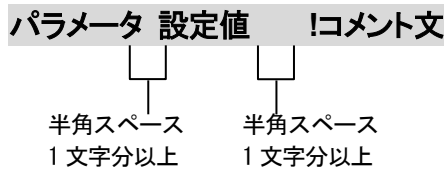
主にネットワークに関する基本情報の設定ファイルです。  
 変更したい箇所を直接書き換えて「設定変更」ボタンを押してください。  
 ※全て半角文字で記述してください。

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
IPアドレス/ ネットマスク	<p>PB402-SIPのIPアドレスとネットマスクを設定します。</p> <p>ネットワークに合わせて設定してください。            IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。            DHCPモードで使用する場合には、            "255.255.255.255"と入力します。            (P.58 参照)            ネットマスク: 該当するビット数を選択してください。</p>	<p>IPアドレス ネットマスク</p> <p>(IPv4 のみ)</p>	<p>IPアドレス: 192.168.1.24</p> <p>ネットマスク: 24 ビット (255.255.255.0)</p>
デフォルト ゲートウェイ	<p>接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークに合わせて設定してください。</li> <li>数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。</li> <li>デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。</li> <li>設定を削除する場合は空欄にしてください。</li> </ul>	<p>IPアドレス (IPv4 のみ)</p>	192.168.1.1
DNS1	<p>プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークに合わせて設定してください。</li> <li>数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。</li> <li>DNSサーバを使用しない場合には、設定不要です。</li> <li>DHCPでDNSサーバを取得する場合は設定しないでください。</li> <li>設定を削除する場合は空欄にしてください。</li> </ul>	<p>IPアドレス (IPv4 のみ)</p>	未設定
DNS2	<p>セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークに合わせて設定してください。</li> <li>数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。</li> <li>DNSサーバを使用しない場合、またはセカンダリDNSが無い場合には、設定不要です。</li> <li>DHCPでDNSサーバを取得する場合は設定しないでください。</li> <li>設定を削除する場合は空欄にしてください。</li> </ul>	<p>IPアドレス (IPv4 のみ)</p>	未設定

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
端末名	<p>端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可)</li> <li>末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可)</li> </ul> <p>(記述例 abc-123)</p> <p>無記述時はシリアルナンバーが表示されます。 例) SN2012345</p>	<p>最大 20 文字 半角英数字 “ - ” (ハイフン) “ . ” (ピリオド)</p>	<p>シリアルナンバー (SN)が表示されま す</p>
HTTPポート 番号	<p>設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。</p> <p>セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定するか、空欄にしてください。</p>	<p>0~65535</p>	<p>8084</p>
NTPサーバ	<p>NTPサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークに合わせて設定してください。</li> <li>IPアドレスの場合、数字と数字の間には、「.(ピリオド)を入力してください。</li> <li>NTPサーバを使用しない場合には、設定不要です。</li> </ul>	<p>IPアドレス (IPv4 のみ) または ドメイン名</p>	<p>未設定</p>

## システム設定ファイル (syscnfg.ini)

システムに関する設定ファイルです。  
パラメータの記述方法と編集ルールは以下の通りです。



### <編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず 1 行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。  
「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。  
また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

システム設定ファイル(syscnfg.ini)に設定できるパラメータは下表の通りです。

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
AUTH_NAME1	SIPサーバで認証をかけている場合のch.1 の認証用ユーザ名を設定します。 ※SIPサーバによっては、PHONE1 で設定した値と同じ値を設定しなければならない場合があります。 (記述例 AUTH_NAME1 1937241)	半角英数字 32 文字まで	1937241
AUTH_NAME2	SIPサーバで認証をかけている場合のch.2 の認証用ユーザ名を設定します。 ※SIPサーバによっては、PHONE2 で設定した値と同じ値を設定しなければならない場合があります。 (記述例 AUTH_NAME2 1937242)	半角英数字 32 文字まで	1937242
AUTH_PASS1	SIPサーバで認証をかけている場合のch.1 の認証用パスワードを設定します。 (記述例 AUTH_PASS1 1937241)	半角英数字 32 文字まで	1937241
AUTH_PASS2	SIPサーバで認証をかけている場合のch.2 の認証用パスワードを設定します。 (記述例 AUTH_PASS2 1937242)	半角英数字 32 文字まで	1937242
AUTODIAL1	ch.1 に接続された電話機等をオフフックしたら電話番号を入力しなくても自動的に発信する機能です。 設定値は、発信したい相手先の電話番号を指定します。 電話番号は、電話番号設定ファイルを参照します。 (記述例 AUTODIAL1 100) 電話機をオフフックすると電話番号「100」へ自動発信します。	電話番号 "#" "*" 23 桁まで	未設定
AUTODIAL2	ch.2 に接続された電話機等をオフフックしたら電話番号を入力しなくても自動的に発信する機能です。 設定値は、発信したい相手先の電話番号を指定します。 電話番号は、電話番号設定ファイルを参照します。 (記述例 AUTODIAL2 200) 電話機をオフフックすると電話番号「200」へ自動発信します。	電話番号 "#" "*" 23 桁まで	未設定
CCH ※ch.1、2 共通	SIPパケットを受信するUDPポート番号を設定します。 (記述例 CCH 5060)	1~65535	5060
CODER	音声圧縮方式(コーデック)を設定します。 1: G.711 (64kbps圧縮) 17: G.729A (8kbps圧縮) ※G.729Aに設定すると、データが小さくなり帯域を節約できますが、低音質になります。 (記述例 CODER 1)	1 17	1

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
DELIM	<p>発信時に、"#"を入力を終了(デリミタ)として扱うかどうかを設定します。 電話番号が"#"から始まる場合は、途中で"#"が押されてもデリミタとしません。</p> <p>ON: #をデリミタ文字として扱う OFF: #をデリミタ文字として扱わない</p> <p>(記述例 DELIM ON)</p>	ON OFF	ON
DIDMODE	<p>電話ポートに接続された機器への呼出方法を設定します。</p> <p>0: 通常呼出モード(アナログ電話機接続等) 1: 簡易DIDモード(電話交換機接続等) 2: NTTダイヤルインモード(電話交換機接続等) 3: ナンバーディスプレイモード (ナンバーディスプレイ対応電話機等) ※SIP環境によっては対応できない可能性があります。</p> <p>※交換機(PBX)に接続する場合はP.56 参照</p> <p>(記述例 DIDMODE 0)</p>	0 1 2 3	0

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
DTMF_TOUT	<p>通話中にDTMF信号を受信した際の桁間タイマーおよびDTMF受信の開始番号と終了番号を設定します。</p> <p>【記述方法】 DTMF_TOUT &lt;桁間タイマー&gt; &lt;開始番号&gt; &lt;終了番号&gt;</p> <p>&lt;桁間タイマー&gt;</p> <p>-1: DTMF制御無効</p> <p>0: 桁間タイマーなし DTMF送信側は&lt;開始番号&gt;の後、DTMF番号の入力を開始し、&lt;終了番号&gt;で終了してください。 &lt;開始番号&gt;を入力すると入力待ち音「プ、プ、プ」が聞こえるので、action.iniのDTMF受信設定(P.41)のオプションで指定されたDTMF番号を入力し、最後に&lt;終了番号&gt;を入力します。 入力を間違えた場合、再度&lt;開始番号&gt;を入力すると、最初から入力し直すことができます。</p> <p>1~10: 指定秒数で桁間タイムアウト DTMFを送信する側では&lt;開始番号&gt;および&lt;終了番号&gt;を使用せずにDTMF番号を入力できます。 「プ、プ、プ」は聞こえません。 番号入力中に設定秒数以上の間隔が空いた場合は最初から入力し直してください。 入力を間違えた場合は設定秒数経過後に最初から入力し直してください。</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話中にDTMF開始番号を検知するとDTMF受信モードになり、その間は音声通話ができなくなります。</li> <li>・"# " や "* " を別の用途で使用している場合はDTMF開始番号に設定しないようご注意ください。</li> <li>・終了番号がaction.iniのDTMF番号に含まれないようご注意ください。</li> </ul> <p>(記述例 DTMF_TOUT 0 # #)</p>	<p>桁間タイマー -1~10 単位:秒</p> <p>開始番号、終了番号 0~9 "# " "* " 1 桁のみ</p>	-1
ECE	<p>エコーキャンセラの有無を設定します。</p> <p>ON: エコーキャンセラを有効にする OFF: エコーキャンセラを無効にする</p> <p>通常はONでご使用ください。 (記述例 ECE ON)</p>	<p>ON OFF</p>	ON
EMSGID	<p>アクション設定ファイルで使用される「TID(Terminal ID)」の値を設定します。</p> <p>TIDとは、端末固有のIDのことです。 (記述例 EMSGID PB402-SIP)</p>	<p>半角英数字 15 文字 まで</p>	PB402-SIP

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
FAX_RELAY	FAX通信のモードを設定します。 0: みなし音声でFAX通信を行う 1: T.38 でFAX通信を行う  (記述例 FAX_RELAY 0)	0 1	0
LEVEL_MODE	通話中に、各種制御用の音声を検出する回線を設定します。  0: IP回線からの音声を検出 1: 電話回線からの音声を検出  ※DTMF受信時に接点制御を行いたい場合は0に設定してください。 (P.46 参照)  (記述例 LEVEL_MODE 1)	0 1	1
MIN_SE  ※ch.1、2 共通	着信時に許容するSession-Expiresの最低値(キープアラートの間隔の最小値)を設定します。  この値を下回るSession-Expiresの値を受信した場合、エラーを返します。  ※「Arcstar Smart PBX」「ひかりクラウドPBX」に接続する場合は90に設定してください。  (関連パラメータ: SE_EXPIRES) (記述例 MIN_SE 300)	90~86400	300
PHONE1	ch.1 の電話番号を設定します。  SIPサーバへ通知する番号となります。 設定しないと通話できません。  【グループ着信機能】 PHONE1、PHONE2 に同じ電話番号を設定すると、ch.1、ch.2 の空いている方に着信します。  (記述例 PHONE1 1937241)	半角英数字 32 文字 まで	1937241
PHONE2	ch.2 の電話番号を設定します。  SIPサーバへ通知する番号となります。 設定しないと通話できません。  ※ch.2 を使用しない場合はパラメータの行頭に「!」を記述(コメントアウト)してください。  【グループ着信機能】 PHONE1、PHONE2 に同じ電話番号を設定すると、ch.1、ch.2 の空いている方に着信します。  (記述例 PHONE2 1937242)	半角英数字 32 文字 まで	1937242

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
PROXY1	REGISTERリクエスト以外のSIPメッセージを送信するプロキシサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。 ドメイン名で設定する場合は、基本設定ファイル (netcnfg.ini) でDNSサーバの設定が必要です。  (記述例 PROXY1 192.168.1.5)	IPv4 アドレス またはドメイン名	192.168.1.5
PROXY1_PORT	REGISTERリクエスト以外のSIPメッセージを送信するプロキシサーバのポート番号を設定します。  (記述例 PROXY1_PORT 5060)	1~65535	5060
RB_TIMER ※ch.1、2 共通	発信先の相手が応答しない場合に待機状態に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。  (記述例 RB_TIMER 120)	1~86400 単位: 秒	120
REGISTER1	REGISTERリクエストを送信するレジストラサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。 ドメイン名で設定する場合は、基本設定ファイル (netcnfg.ini) でDNSサーバの設定が必要です。  (記述例 REGISTER1 192.168.1.5)	IPv4 アドレス またはドメイン名	192.168.1.5
REGISTER1_PORT	REGISTERリクエストを送信するレジストラサーバのポート番号を設定します。  (記述例 REGISTER1 5060)	1~65535	5060
REGI_EXPIRES ※ch.1、2 共通	レジストラサーバ登録の有効期限 (REGISTERリクエストに含まれるExpiresの値) を設定します。  (記述例 REGI_EXPIRES 3600)	10~86400 単位: 秒	3600
REGI_RETRY ※ch.1、2 共通	REGISTERリクエストがタイムアウトして失敗した場合、次のREGISTERリクエストを送信するまでの時間を設定します。  (記述例 REGI_RETRY 120)	5~86400 単位: 秒	120
RG_TIMER ※ch.1、2 共通	着信時にPB402-SIPが応答しない場合に待機状態に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。  (記述例 RG_TIMER 120)	1~86400 単位: 秒	120

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
RING_DELAY1	ch.1 のアナログ回線への呼出信号送出タイミングの遅延設定をします。 時差着信を行いたい場合等に必要に応じて設定します。 (記述例 RING_DELAY1 0)	0~100000 単位:ミリ秒	未設定
RING_DELAY2	ch.2 のアナログ回線への呼出信号送出タイミングの遅延設定をします。 時差着信を行いたい場合等に必要に応じて設定します。 (記述例 RING_DELAY2 1500)	0~100000 単位:ミリ秒	未設定
RTP_PORT ※ch.1、2 共通	音声パケット(RTPパケット)のポート番号を設定します。 設定値から偶数値で計 16 ポートが使用されます。 (記述例 RTP_PORT 40000) 使用ポート番号 40000~40030 のうち偶数値	2~65534 偶数値	40000
RVS_BT	着信側の終話時に、転極パルスを送出する設定をします。 ON: 転極パルスを送出する OFF: 転極パルスを送出しない  通常は、ONでご使用ください。 (記述例 RVS_BT ON)	ON OFF	ON
RVS_CON	発信側の通話時に、極性反転を行う設定をします。 ON: 極性反転を行う OFF: 極性反転を行わない  通常は、ONでご使用ください。 (記述例 RVS_CON ON)	ON OFF	ON
RVS_PW	着信側の終話時に、送出手の転極パルス幅を設定します。  (関連パラメータ: RVS_BT ON)に設定している場合に有効になります。 (記述例 RVS_PW 750)	400~800 単位:ミリ秒	750

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
SCE	<p>無音圧縮の有無を設定します。                      会話と会話の間の無音時に、音声パケット送出を停止する設定です。通常はOFFに設定してください。                      (やむを得ず使用帯域を削減したい場合、ONに設定してください。)</p> <p>ON: 無音圧縮有効                      OFF: 無音圧縮無効</p> <p>(記述例 SCE OFF)</p>	<p>ON                      OFF</p>	OFF
SE_EXPIRES	<p>通話中に何らかの原因でネットワークが切断された時に相手を確認する周期(INVITEリクエストに含まれるSession-Expiresの値)を設定します。</p> <p>(記述例 SE_EXPIRES 300)</p>	<p>90~86400                      単位: 秒</p>	300
VOL_IN1	<p>ch.1 の入力レベルを設定します。                      -32(ミュート) ~ 31(最大)                      相対値となります。</p> <p>-32 以下を設定した場合、-32 になります。                      31 以上を設定した場合、31 になります。</p> <p>(記述例 VOL_IN1 0)</p>	<p>-32~31                      単位: dB</p>	0
VOL_IN2	<p>ch.2 の入力レベルを設定します。                      -32(ミュート) ~ 31(最大)                      相対値となります。</p> <p>-32 以下を設定した場合、-32 になります。                      31 以上を設定した場合、31 になります。</p> <p>(記述例 VOL_IN2 0)</p>	<p>-32~31                      単位: dB</p>	0
VOL_OUT1	<p>ch.1 の出力レベルを設定します。                      -32(ミュート) ~ 31(最大)                      相対値となります。</p> <p>-32 以下を設定した場合、-32 になります。                      31 以上を設定した場合、31 になります。</p> <p>(記述例 VOL_OUT1 0)</p>	<p>-32~31                      単位: dB</p>	0
VOL_OUT2	<p>ch.2 の音声の出力レベルを設定します。                      -32(ミュート) ~ 31(最大)                      相対値となります。</p> <p>-32 以下を設定した場合、-32 になります。                      31 以上を設定した場合、31 になります。</p> <p>(記述例 VOL_OUT2 0)</p>	<p>-32~31                      単位: dB</p>	0

## 電話番号設定ファイル (phone.ini)

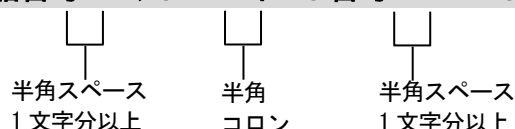
PB402-SIP に登録する発信先電話番号帳です。

※通常は設定不要です。

特定の電話番号で、システム設定ファイル(syscnfg.ini)の PROXY1、PROXY1\_PORT とは異なる発信先へ接続したい場合には設定します。

記述方法と編集ルールは以下の通りです。

### 電話番号 IP アドレス:ポート番号 !コメント文



### <編集ルール>

- 発信先の電話番号、IP アドレスとポート番号を記述します。
- 任意の数字および「#」「\*」(最大 23 桁)により、電話番号を設定できます。ただし syscnfg.ini のパラメータ DELIM が ON に設定されている場合は、「#」が入力終了文字として扱われ意図した相手に発信できないため注意してください。
- 電話番号と IP アドレス、ポート番号は必ず 1 行で記述してください。
- 電話番号と IP アドレス、ポート番号は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 電話番号が重複して登録されていた場合、上位に記述されている番号が優先されます。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。「! (半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

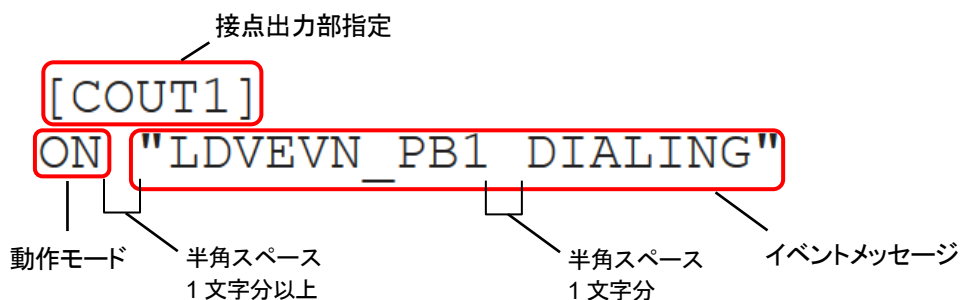
### <記述例>

100 192.168.1.10:5060	!100 番で 192.168.1.10:5060 へ発信
-----------------------	-------------------------------

## アクション設定ファイル (action.ini)

端末の状態により接点を動作(ON/OFF)させる事ができます。

### 記述例



### 接点出力部指定

C.OUT1、C.OUT2 の順に記述してください。順番を変えて設定すると、正常に動作しない場合があります。

記述名	説明	出荷時設定
[COUT1]	C.OUT1 接点出力動作を指定します。 接点出力 1 に関する設定を[COUT1]の下に記述してください。 ※必ず記述してください。	[COUT1]
[COUT2]	C.OUT2 接点出力動作を指定します。 接点出力 2 に関する設定を[COUT2]の下に記述してください。 ※必ず記述してください。	[COUT2]

### 動作モード説明

動作モード	説明
ON	接点をON(ショート)します。
OFF	接点をOFF(解放)します。
SB	スローブリンク。ゆっくりしたON/OFF。 1秒周期でON、OFFを繰り返します。
FB	ファーストブリンク。速いON/OFF。 0.1秒周期でON、OFFを繰り返します。
OS [パルス幅]	ワンショット。接点をn mSec ON(ショート)します。 パルス幅の単位はミリ秒 100ミリ秒から60000ミリ秒(1分)まで設定可能 デフォルト値は100ms

## 動作モード設定およびイベントメッセージ

※オプションを指定する場合、TID(syscnfg.iniに設定したEMSGID)を必ず記述してください。

動作モード	イベントメッセージ	接点出力動作
ON OFF SB FB OS	"LDVEVN_PB1(2) STARTUP"	ch.1(ch.2)起動完了時
	"LDVEVN_PB1(2) DIALING"	ch.1(ch.2)のオフフック検出時
	"LDVEVN_PB1(2) SETUP [TID] [オプション]"  (記述例) LDVEVN_PB1 SETUP PB402-SIP 100	ch.1(ch.2)のIP回線への発信開始時  オプションに発信先の電話番号を記述すると、その電話番号への発信開始時にのみCOUT1(2)を動作させることが可能。
	"LDVEVN_PB1(2) CONNECTED"	ch.1(ch.2)の通話開始時
	"LDVEVN_PB1(2) IDLE"	ch.1(ch.2)のオンフック検出時(待機状態)
	"LDVEVN_PB1(2) BUSY"	ch.1(ch.2)の通話が相手側から切断された時 または発信が不通だった時
	"LDVEVN_PB1(2) RINGING [TID] [オプション]"  (記述例) LDVEVN_PB1 RINGING PB402-SIP 200	ch.1(ch.2)のIP回線からの着信時  オプションに発信元の電話番号を記述すると、その電話番号からの着信時にのみCOUT1(2)を動作させることが可能。
	"LDVEVN_PB1(2) DTMF [TID] [オプション]"  (記述例) LDVEVN_PB1 DTMF PB402-SIP 123	通話中のIP回線からのDTMF信号受信時  オプションに「DTMF番号(0~9)」を記入します。 ※本設定はDTMFを受信する端末に設定します。  DTMF送信側の操作方法等についてはsyscnfg.iniのパラメータDTMF_TOUT(P.34)を参照してください。  ※PB402-SIPはDTMF検出方法として、みなし音声とSIPのINFOメッセージに対応していますが、DTMF信号を送信する機種や環境によってはDTMFを検出できない可能性があります。
	"LDVEVN_NT1 LINKDOWN"	ネットワークリンクダウン時
	"LDVEVN_NT1 LINKUP"	ネットワークリンクアップ時
"LDVEVN_NT1 OFFLINE"	SIPサーバへレジストできていない状態 ※ONLINEとセットで設定してください	
"LDVEVN_NT1 ONLINE"	SIPサーバへレジストできている状態 ※OFFLINEとセットで設定してください	

設定例

	動作	記述例
1	ch.1 通話中にC.OUT1 をON、終話時にOFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_PB1 CONNECTED" OFF "LDVEVN_PB1 IDLE"
2	ch.2 の着信時にC.OUT2 を速いON/OFF、通話開始したらOFF。	[COUT2] FB "LDVEVN_PB2 RINGING" OFF "LDVEVN_PB2 CONNECTED"
3	ch.2 へ、電話番号 100 からの着信時にC.OUT2 をワンショット(2秒間ON)する。2秒経過後、OFF。	[COUT2] OS 2000 "LDVEVN_PB2 RINGING PB402-SIP 100"
4	ch.1 通話中にC.OUT1 をON。終話時にOFF。 相手からのDTMF信号(123)で、C.OUT2 をON。 DTMF信号(456)でC.OUT2 をOFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_PB1 CONNECTED" OFF "LDVEVN_PB1 IDLE"  [COUT2] ON "LDVEVN_PB1 DTMF PB402-SIP 123" OFF "LDVEVN_PB1 DTMF PB402-SIP 456"
5	端末動作中(待機中)にC.OUT1 をON。	[COUT1] ON "LDVEVN_PB1 IDLE"
6	ch.1 の発信時はC.OUT1 をON、着信時には C.OUT1 をゆっくりON/OFF、通話終了時にOFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_PB1 SETUP PB402-SIP" SB "LDVEVN_PB1 RINGING" OFF "LDVEVN_PB1 IDLE"

---

## 第5章 使用例

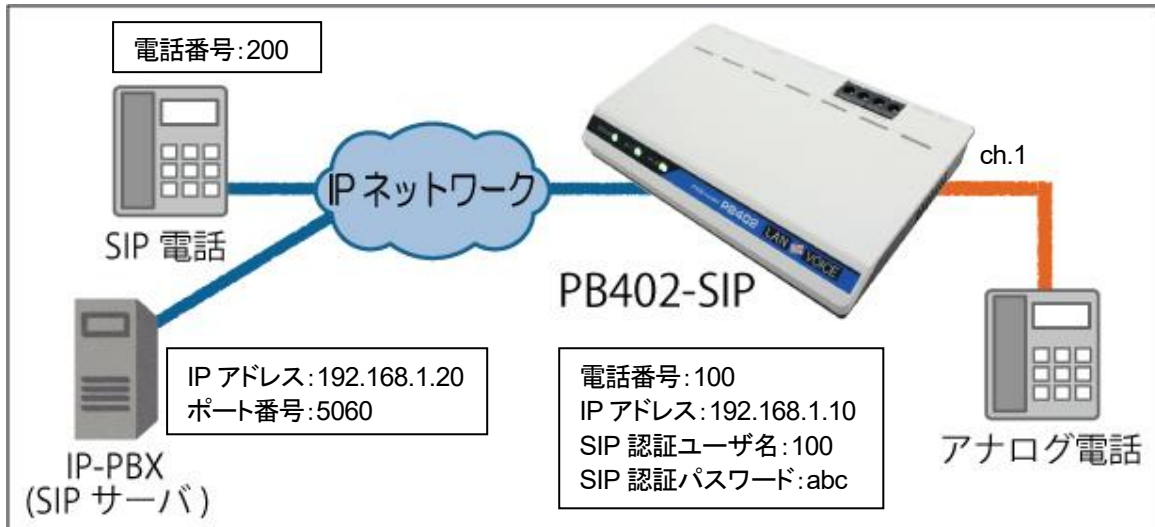
---

実際に通話を試してみましょう。

- 基本的な運用
- ホットライン発信
- 通話中にDTMF信号で接点出力制御
- 時間外留守応答

## 基本的な運用

PB402-SIPをSIPサーバにレジストさせ、通話を行います。



1 PB402-SIPに以下の設定を行います(各設定詳細については第 4 章参照)。

■PB402-SIP側やネットワーク側で設定値を決定

パラメータ名	設定内容	設定例
基本設定ファイル (netcnfg.ini)		
IPアドレス	PB402-SIPのIPアドレス	192.168.1.10
デフォルトゲートウェイ	PB402-SIPのデフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS1 ※環境によって設定	DNSサーバのIPアドレス ※SIPサーバ等のIPアドレスをドメイン名で設定する場合のみ必要	192.168.1.50

■SIPサーバ側の情報を参照して設定

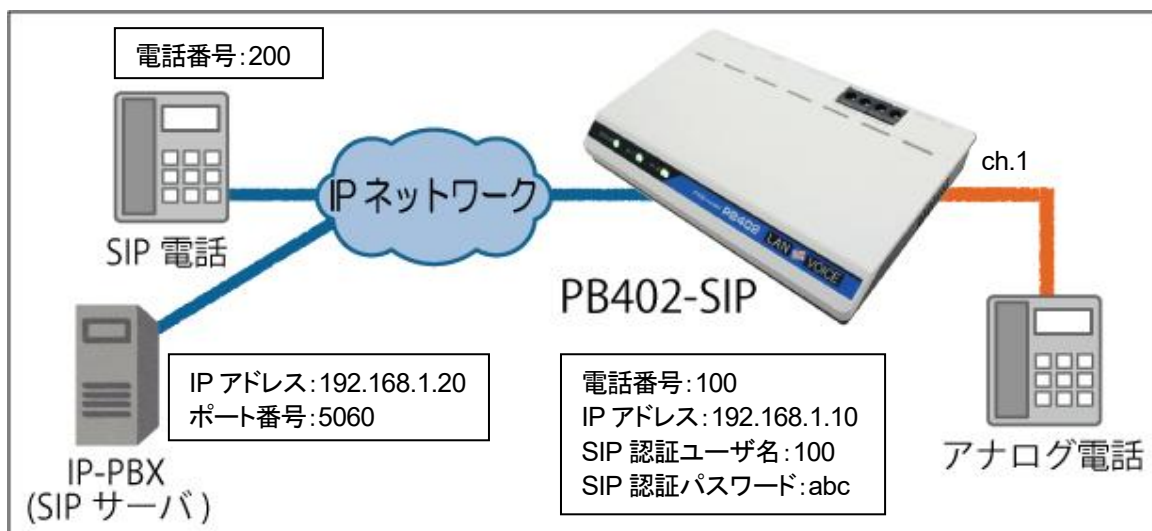
パラメータ名	設定内容	設定例
システム設定ファイル (syscnfg.ini)		
AUTH_NAME1	ch.1 のSIPアカウントの認証ユーザ名	100
AUTH_PASS1	ch.1 のSIPアカウントの認証パスワード	abc
PHONE1	ch.1 のSIP電話番号	100
REGISTER1	レジストラサーバのIPアドレス / ドメイン名	192.168.1.20 / xxx.yyy.zzz.jp
REGISTER1_PORT	レジストラサーバのポート番号	5060
PROXY1	プロキシサーバのIPアドレス / ドメイン名	192.168.1.20 / xxx.yyy.zzz.jp
PROXY1_PORT	プロキシサーバのポート番号	5060

2 ネットワークに接続するとSIPサーバにレジストし、ch.1 LEDが青点灯します。

3 アナログ電話機で 200 をダイヤルすると、SIP電話機を呼び出します。

## ホットライン発信

PB402-SIPから特定のSIP電話機へホットライン発信を行います。



1 PB402-SIPに以下の設定を行います(各設定詳細については第 4 章参照)。

■PB402-SIP側やネットワーク側で設定値を決定

パラメータ名	設定内容	設定例
基本設定ファイル(netcnfg.ini)		
IPアドレス	PB402-SIPのIPアドレス	192.168.1.10
デフォルトゲートウェイ	PB402-SIPのデフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS1 ※環境によって設定	DNSサーバのIPアドレス ※SIPサーバ等のIPアドレスをドメイン名で設定する場合のみ必要	192.168.1.50
システム設定ファイル(syscnfg.ini)		
AUTODIAL1	ch.1 の自動発信先SIP電話番号	200

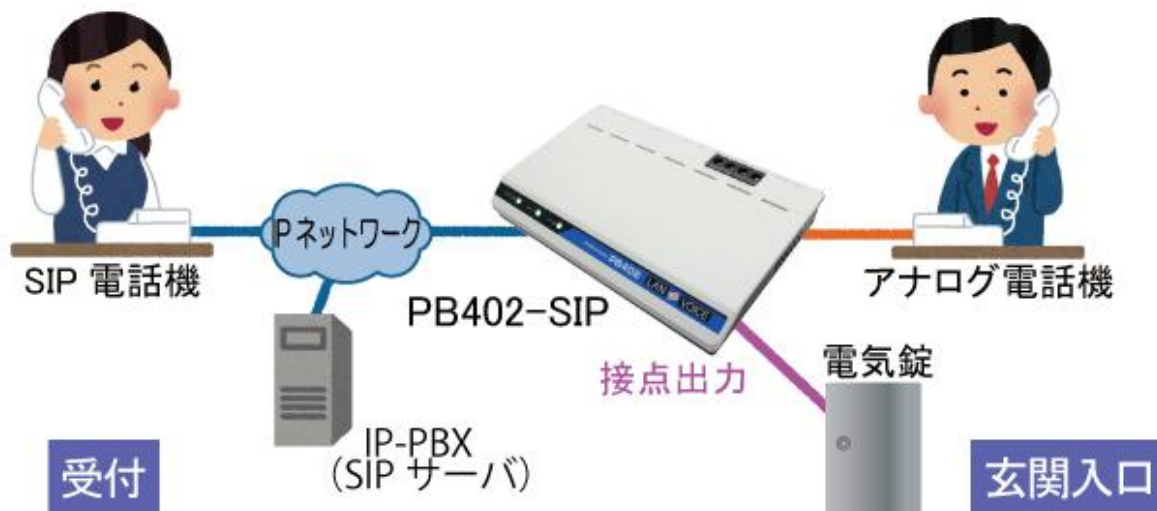
■SIPサーバ側の情報を参照して設定

パラメータ名	設定内容	設定例
システム設定ファイル(syscnfg.ini)		
AUTH_NAME1	ch.1 のSIPアカウントの認証ユーザ名	100
AUTH_PASS1	ch.1 のSIPアカウントの認証パスワード	abc
PHONE1	ch.1 のSIP電話番号	100
REGISTER1	レジストラサーバのIPアドレス / ドメイン名	192.168.1.20 / xxx.yyy.zzz.jp
REGISTER1_PORT	レジストラサーバのポート番号	5060
PROXY1	プロキシサーバのIPアドレス / ドメイン名	192.168.1.20 / xxx.yyy.zzz.jp
PROXY1_PORT	プロキシサーバのポート番号	5060

2 アナログ電話機をオフフックすると、SIP電話機を呼び出します。

## 通話中に DTMF 信号で接点出力制御

例) 受付から玄関入口の電気錠を解錠/施錠します。



1 予めPB402-SIPへ設定を行ってください。

- ・システム設定ファイル (syscnfg.ini)

```
DTMF_TOUT 0 ##
```

```
LEVEL_MODE 0
```

- ・アクション設定ファイル (action.ini)

```
[COUT1]
```

```
ON "LDVEVN_PB1 DTMF PB402-SIP 123"
```

```
OFF "LDVEVN_PB1 IDLE"
```

### 【設定の説明】

今回の設定では、通話中にSIP電話機が「#123#」とダイヤル入力をし、PB402-SIPが「123」と受信すると接点出力 1 (C.OUT1) をON(ショート)します。

また、PB402-SIPが待機状態になるとC.OUT1 をOFFにします。

2 PB402-SIPとSIP電話機間で通話を行います。  
通話中にSIP電話機にて「#123#」とボタンを押します。

3 PB402-SIPのC.OUT1 がショートし、電気錠が解錠されます。

4 通話終了後、C.OUT1 がOFFになり電気錠が施錠されます。

※「#」を別の用途で使用している場合は他の番号を設定してください(P.34 参照)。

### 注意 動作確認について

PB402-SIPはDTMF信号の検出方法として、「みなし音声」および「SIPのINFOメッセージ」に対応していますが、DTMF信号を送信する機種や環境によっては検出できない可能性があります。本機能を利用する場合は必ず動作確認を行ってください。

## 時間外留守応答

下図のように複数回線モデルの留守応答装置を 2 回線分接続し、時間外留守応答を行います。



### 1 予めPB402-SIPへ設定を行ってください。

- ・システム設定ファイル (syscnfg.ini)  
BT\_PD 2 1000  
DIALING\_TOUT 0

#### 【設定の説明】

公衆網からの着信時、SIPサーバ側の設定により、PB402-SIPのch.1、ch.2 が一斉に呼び出される場合に設定します。

留守応答装置によっては、呼び出された後にすぐに呼出が停止しても、一旦ガイダンスを再生し始めると再生完了までその回線が使用不可になってしまうことがあります。

上記設定を行うと、SIP応答した回線以外の回線に対してPB402-SIPからの給電が一瞬停止されるため、2 回線ともガイダンスを再生してしまうことを避けることができます。

※この設定にすると、留守応答装置側からの発信はできなくなります。

### 2 公衆網からSIPサーバ経由でPB402-SIPのch.1、ch.2 を一斉呼出します。

### 3 ch.1 に接続された留守応答装置の回線が応答し、ガイダンスを再生します。

### 4 ch.1 のガイダンス応答中に再度公衆網から着信すると、ch.2 に接続された留守応答装置の回線が応答し、ガイダンスを再生します。

※以下の場合は上記設定が不要です。

- ・留守応答装置の 1 回線ごとに公衆回線番号が割り当てられており、PB402-SIP の ch.1、ch.2 が別々に呼び出される場合
- ・留守応答装置を 1 回線しか使用しない場合

## 第6章 製品仕様

PB402-SIP の製品仕様です。

製品名	LANdeVOICE PB402-SIP
型番	LdV4-PB402-SIP
LANポート	<p>1 ポート (RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MDI (Auto MDI/MDI-X機能なし)</li> <li>・ IPv4 (DHCPクライアント機能サポート)</li> <li>・ IPv6 非対応</li> </ul>
電話ポート	<p>2 ポート FXS</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RJ-11</li> <li>・ 選択信号 : PB信号 DP信号 (10pps, 20pps) 自動切替</li> <li>・ 給電電圧 : 約 48V (端子間開放の場合)、</li> <li>・ 給電電流 : 約 30mA (代表値)</li> <li>・ 呼出信号 : 16Hz 変形矩形波 (負荷のインピーダンスにより、出力電流・電圧ともに変化する。)</li> <li>・ 極性反転機能あり</li> </ul>
接点出力	<p>2 ポート (M4 ネジ式端子台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力形式 : 無電圧a接点</li> <li>・ 極性なし、交流負荷も接続可能 本体内部回路からは絶縁されている</li> <li>・ 最大定格 : DC45V 800mA (AC30V 550mA rms、周波数は 100Hz未満の正弦波)</li> </ul>
状態表示ランプ	前面 : 3 (STATUS、ch.1、ch.2)
呼制御プロトコル	SIP
音声通信機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圧縮方式 : G.711 (<math>\mu</math>-LAWのみ)、G.729A</li> <li>・ エコーキャンセラ (G.168 準拠[64mSec])</li> <li>・ 無音声圧縮処理サポート</li> <li>・ DTMF中継機能サポート</li> </ul>
FAX通信機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みなし音声通信</li> <li>・ FAXモード専用通信 (T.38)</li> </ul>

設定方法	ネットワーク上に接続されたPC等のWebブラウザからの操作（設定画面）、Webブラウザからのファイル転送
筐体	プラスチック筐体
動作環境温度の目安 （無風状態の周囲 気温）	<p>単独平置の場合：0℃～50℃ 平置段積の場合：0℃～40℃</p> <p>※ただし、平置段積の場合には正規オプション品（固定金具キット）を使用し、4段重ねた場合の目安</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">注) いずれも本体のみについての動作環境温度</div>
電源	ACアダプタ給電
消費電力	<p>最大：9.0W 代表値：3.6W（1回線通話時）、4.6W（2回線同時通話時）</p>
環境対応	<p>欧州RoHS指令準拠 ※弊社独自の化学分析は行っていませんが、本指令に準拠した部材のみを製品に使用しています。</p>
外形寸法	199(W)×126(D)×31.5(H) mm（突起物含まず）
質量	本体約 0.38kg
付属品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACアダプタ（1.5m）×1</li> <li>  スイッチング電源方式</li> <li>  入力：AC100～240V（50/60Hz）</li> <li>    ※VCCI適合はAC100Vのみ</li> <li>  出力：DC 9V、1A</li> <li>  対応環境温度：0℃～50℃</li> <li>・ LANケーブル（ストレート、3m）×1</li> <li>・ 保証書</li> <li>・ シリアルシール</li> </ul>
デフォルトIPアドレス	192.168.1.24
保証期間	購入後 1 年間
接続可能機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 線式アナログ電話機</li> <li>・ G3FAX機 ※要接続検証</li> <li>  ※スーパーG3（V.34）非対応</li> <li>・ 交換機（PBX）のCOT   （局線トランク・アナログ外線トランク）</li> <li>・ 接点入力のある機器</li> </ul>
オプション品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LANdeVOICE4 固定金具キット</li> </ul>

---

# 付 録

---

- 付録 1 コーデック(音声圧縮方式)とは
- 付録 2 使用帯域
- 付録 3 ファイル送信による設定について
- 付録 4 交換機(PBX)接続時の設定について
- 付録 5 FAX接続時の設定について
- 付録 6 DHCP設定の場合について
- 付録 7 修理について
- 付録 8 パソコンのネットワーク設定について

## 付録 1 コーデック（音声圧縮方式）とは

電話機の音声(アナログ信号)は、コーデックによりデジタル信号に変換(符号化、複合化)します。PB402-SIPはコーデックにG.711(64kbps圧縮)、G.729A(8kbps圧縮)を使用します。

## 付録 2 使用帯域

PB402-SIP が 1 対 1 で通話する際に使用する音声帯域は以下の通りです。

コーデック	パケット送信間隔(ms)	帯域(kbps)
<b>G.711</b>	20	<b>87.2</b>
<b>G.729A</b>	20	<b>31.2</b>

### ■参考情報

実際には使用する回線のヘッダ情報等が追加される場合があります。

## 付録3 ファイル送信による設定について

各種設定ファイルの設定は、設定画面の各設定欄で直接書き換える方法だけでなく、あらかじめ作成しておいた設定ファイルをメニュー「ファイル送信／バックアップファイル復元」(P.25 参照)にてWeb上へ送信(アップロード)する方法でも行うことができます。

この方法は全種類の設定ファイルに適用可能です。

ファイル送信による設定の手順は以下の通りです。

### 1 以下の形式でファイルを作成します。

#### 【ファイル名と拡張子】

基本設定ファイル:「netcnfg.ini」

システム設定ファイル:「syscnfg.ini」

電話番号設定ファイル:「phone.ini」

アクション設定ファイル:「action.ini」

#### 【ファイル形式】

テキスト形式(「メモ帳」等のテキストエディタで作成してください)

※作成後に上記ファイル名と拡張子に変更してください。

※ファイル内のパラメータの記述方法については  
「第4章 設定ファイル一覧」を参照してください。

### 2 作成したファイルを送信します。

メニュー「ファイル送信／バックアップファイルの復元」にて、作成した各種設定ファイルをそれぞれ参照し、送信ボタンを押します。

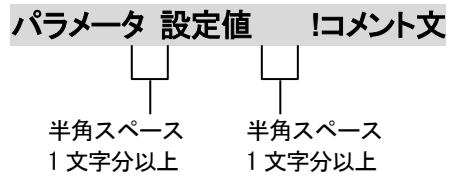
### 3 再起動ボタンを押し、正常に起動するまで待ちます。

※再起動中は絶対に電源を切らないでください。

## ■記述方法と編集ルール

基本設定ファイル (netcnfg.ini) の記述方法と編集ルールは以下の通りです。  
※その他の設定ファイルについては設定画面と同様です。

## &lt;記述方法&gt;



## &lt;編集ルール&gt;

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず 1 行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。  
「! (半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。  
また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

## ■基本設定ファイル(netcnfg.ini)に設定可能なパラメータ

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
IP  (IPアドレス/ ネットマスク)	<p>PB402-SIPのIPアドレスとネットマスクを設定します。</p> <p>ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 DHCPモードで使用する場合には、「255.255.255.255」と入力します。 (P.58 参照) ネットマスク: 「/」(スラッシュ)の後にネットマスク(ビット数)を記述してください。</p> <p>(記述例 IP 192.168.1.24/24)</p>	<p>IPアドレス ネットマスク  (IPv4 のみ)</p>	<p>192.168.1.24 /24</p>
ROUTER  (デフォルト ゲートウェイ)	<p>接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークに合わせて設定してください。</li> <li>・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。</li> <li>・デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。</li> <li>・設定を削除する場合はパラメータ名のみ残し値を削除してください。</li> </ul> <p>(記述例 ROUTER 192.168.1.1)</p>	<p>IPアドレス (IPv4 のみ)</p>	<p>192.168.1.1</p>
DNS1  (DNS1)	<p>プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークに合わせて設定してください。</li> <li>・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。</li> <li>・DNSサーバを使用しない場合には、設定不要です。</li> <li>・DHCPでDNSサーバを取得する場合は設定しないでください。</li> <li>・設定を削除する場合はパラメータ名のみ残し値を削除してください。</li> </ul> <p>(記述例 DNS1 192.168.1.1)</p>	<p>IPアドレス (IPv4 のみ)</p>	<p>未設定</p>

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
DNS2 (DNS2)	<p>セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークに合わせて設定してください。</li> <li>・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。</li> <li>・DNSサーバを使用しない場合、またはセカンダリDNSが無い場合には、設定不要です。</li> <li>・DHCPでDNSサーバを取得する場合は設定しないでください。</li> <li>・設定を削除する場合はパラメータ名のみ残し値を削除してください。</li> </ul> <p>(記述例 DNS2 192.168.1.2)</p>	IPアドレス (IPv4 のみ)	未設定
TERM_NAME (端末名)	<p>端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可)</li> <li>・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可)</li> </ul> <p>(記述例 TERM_NAME abc-123)</p>	最大 20 文字 半角英数字 “ - ”(ハイフン) “ . ”(ピリオド)	シリアルナンバー(SN)が表示されます
HTTPD_PORT (HTTPポート 番号)	<p>設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。</p> <p>セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定するか、パラメータ名のみ残し、値を削除してください。</p> <p>(記述例 HTTPD_PORT 8084)</p>	0~65535	8084
NTPS (NTPサーバ)	<p>NTPサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークに合わせて設定してください。</li> <li>・IPアドレス設定の場合、数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。</li> <li>・NTPサーバを使用しない場合には、設定不要です。</li> </ul> <p>(記述例 NTPS 192.168.1.1)</p>	IPアドレス (IPv4 のみ) または ドメイン名	未設定

## 付録 4 交換機 (PBX) 接続時の設定について

PB402-SIPを交換機(PBX)に接続する場合は以下の設定をしてください。

システム設定ファイル(syscnfg.ini)		
パラメータ名	設定値	備考
DIDMODE	<p>交換機の仕様や運用に合わせて以下のいずれかを設定してください。</p> <p>0(通常呼出モード) 1(簡易DIDモード) 2(NTTダイヤルインモード) 3(ナンバーディスプレイモード)</p>	<p>【ダイヤルイン機能やナンバーディスプレイ機能を利用しない場合】 0に設定してください。</p> <p>【ダイヤルイン機能を利用する場合】 通常は2に設定し、うまくいかなかった場合は1で試してください。 ※簡易DIDモードとは、PB402-SIP着信後にPBXが応答した時点で通話状態になるモードです。</p> <p>【ナンバーディスプレイ機能を利用する場合】 3に設定してください。</p>
PHONE1	<p>[ch.1の電話番号]/</p> <p>【解説】 ch.1の電話番号を"[]"(角かっこ)でくくり、後ろに"/"(スラッシュ)をつける</p>	<p>【設定例】 PHONE1 [100]/</p> <p>【動作】 100 から始まる電話番号がダイヤルされると全てch.1に着信し、100を省略した番号を交換機へ送出 例)10010がダイヤルされる → ch.1に着信 → 10を交換機へ送出</p> <p>【交換機側でダイヤルポーズが必要な場合】 “P”を“&lt;&gt;”(山かっこ)でくって任意の位置に挿入することで、交換機へ番号を送出する際にポーズを入れることが可能です。 “P”ひとつで約1秒間ポーズします。 (設定例)PHONE1 [100]&lt;PP&gt;/ →10010がダイヤルされるとch.1着信後に約2秒間ポーズしてから10を交換機へ送出</p>
PHONE2	<p>[ch.2の電話番号]/</p> <p>【解説】 ch.2の電話番号を"[]"(角かっこ)でくくり、後ろに"/"(スラッシュ)をつける</p>	<p>【設定例】 PHONE2 [200]/</p> <p>【動作】 200 から始まる電話番号がダイヤルされると全てch.2に着信し、200を省略した番号を交換機へ送出 例)20011がダイヤルされる → ch.2に着信 → 11を交換機へ送出</p> <p>【交換機側でダイヤルポーズが必要な場合】 PHONE1同様、ポーズを入れることが可能です。 (設定例)PHONE2 [200]&lt;PP&gt;/ →20011がダイヤルされるとch.2着信後に約2秒間ポーズしてから11を交換機へ送出</p>

## 付録5 FAX 接続時の設定について

PB402-SIPにFAXを接続する場合の設定についてはFAX機等の環境に依存するところがあるため、一定の設定基準があるわけではありませんが、下記を参考のうえ、システム設定ファイル(syscnfg.ini)のパラメータを必要に応じて調整してください。

パラメータ名	設定値	備考
出力レベルの設定		
VOL_OUT1(2)	環境に合わせて調整してください。	出荷時設定より少し下げた方がアナログ信号上のノイズの影響を低減しやすくなりますが、その場合FAX機間で減衰等があると、逆に信号を伝えにくくなります。
音声バッファの制御に関する設定		
DJBOF	13 ※ジッタバッファ静的モード (記述例 DJBOF 13)	出荷時設定では記載がありませんので、設定ファイル内にパラメータごと追記してください。
JB_MIN	静的モードにおける ジッタバッファのサイズ 設定可能値:0~280 単位:ミリ秒 (記述例 JB_MIN 100)	

## 付録6 DHCP 設定の場合について

PB402-SIPではIPアドレスをDHCP設定にすることが可能です。その場合の手順や条件について説明します。

- 1 DHCP設定をするためには、PB402-SIPの基本設定ファイル(netcnfg.ini)にてIPアドレスを「255.255.255.255」と設定してください(P.29 参照)。
- 2 PB402-SIPの設定変更後、STATUS LEDが青点灯になっていれば、IPアドレスの取得とレジストが完了している状態です。  
詳細なLEDの状態についてはP.11 を参照してください。
- 3 DHCP運用時のIPアドレスはSIPサーバ側で確認してください。



### 注意 IP アドレスがわからなくなった場合

IPアドレスが取得できない、レジストができない等でIPアドレスがわからなくなってしまう場合は、一度初期化(P.27 参照)を行ってから設定し直してください。

## 付録7 修理について

修理の前に、設定や構成を見直すことで問題が解決する場合がございます。今一度、設定を見直して頂き、解決できない場合にはお買い求め頂いた代理店・販売店へご連絡ください。

修理については弊社Webサイトをご参照ください。  
<https://www.a-2.co.jp/top/repair.html>

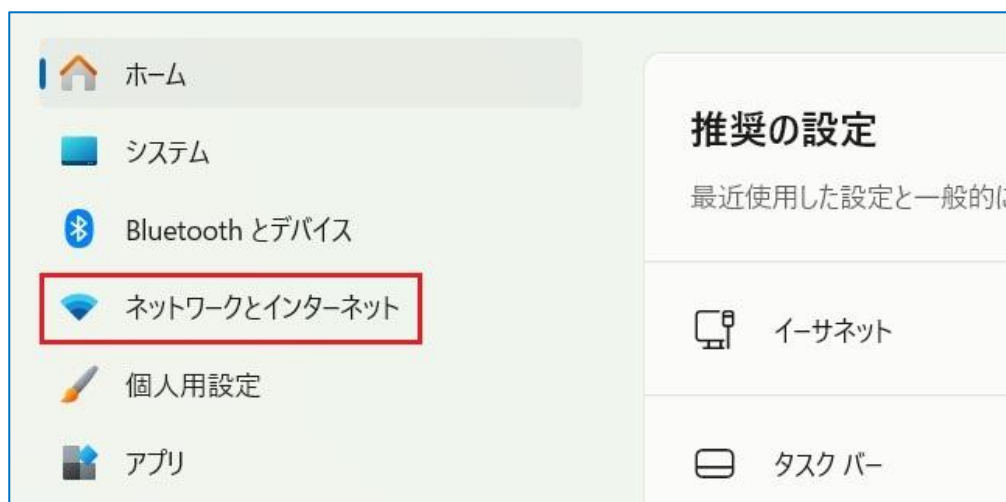
## 付録8 パソコンのネットワーク設定について

端末と接続しているパソコンのネットワーク設定を行います。  
設定方法はOSによって異なりますが、ここでは弊社で動作確認した  
Windows 11 について記載します。

1. 「スタート(窓マーク)」をクリック→「設定(歯車マーク)」をクリックしてください。



2. 「設定」が開くので、「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。



3. 「ネットワークとインターネット」が開くので、「イーサネット」をクリックしてください。



4. 「イーサネット」が開くので、「IP 割り当て」の「編集」をクリックしてください。



**注意** 現在のパソコンの設定を控えておいてください

端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいてください。

5. 「IP 設定の編集」ウィンドウが表示されるので、「手動」→「IPv4」を「オン」の順にクリックし、以下の値を入力してください。  
 「ゲートウェイ」、「DNS」の値は不要です。  
 入力したら「保存」をクリックします。

**IP 設定の編集**

手動

**IPv4**

オン

IP アドレス

192.168.1.100

サブネット マスク

255.255.255.0

ゲートウェイ

優先 DNS

HTTPS 経由の DNS

オフ

代替 DNS

HTTPS 経由の DNS

オフ

**IPv6**

オフ

保存      キャンセル

IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	設定なし
優先 DNS	設定なし
HTTPS 経由の DNS	オフ
代替 DNS	設定なし
HTTPS 経由の DNS	オフ

6. 【確認】「イーサネット」にて、「IP 割り当て」が「手動」、「IPv4 アドレス」が「192.168.1.100」、「IPv4 マスク」が「255.255.255.0」になっていることを確認します。

ネットワークとインターネット > イーサネット

イーサネット  
未接続

認証設定 編集

従量制課金接続  
このネットワークに接続している場合、データ使用量を減らすためにアプリによっては異なる動作が行われる可能性があります。 オフ

このネットワーク上のデータ使用量を制御するためのデータ通信量上限を設定する

IP 割り当て:	手動	<span>編集</span>
IPv4 アドレス:	192.168.1.100	
IPv4 マスク:	255.255.255.0	

DNS サーバーの割り当て: 自動 (DHCP) 編集

# メーカー保証について

この製品は、厳密な検査に合格したものです。

お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 製品に付帯している標準のメーカー保証期間は、製品購入後1年間です。
- 使用時の注意事項につきましては取扱説明書をご覧ください。
- 故障と思われる現象が生じた場合、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください。
- 保証期間内で修理する製品を発送する際、必ず保証書をそえてご依頼ください。本保証書は、製品名、お引渡し日および販売店名が記載されているレシートや納品書等で代用することができます。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

## 保証規定

- 保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。
- 修理は送付バック方式です。修理依頼時の送料、機器の取り付け取り外しを業者に依頼した場合の費用はお客様負担にてお願いします。尚、運送中の故障や事故に関して、株式会社エイツーはいかなる責任も負いかねます。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。
- お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、株式会社エイツーおよび販売店は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。
  1. 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
  2. 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等
- 本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。
  1. 取扱い上の誤りによる故障および損傷
  2. お客様にて分解・改造・修理をされている場合
  3. お買い上げ後の輸送、移動、落下、そのほかの衝撃による故障および損傷
  4. 間違って接続した場合（電源電圧が違うアダプタを挿した場合等）の故障および損傷
  5. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷
  6. 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合による故障および損傷
  7. 日本国外で発生した損害
  8. お引渡し日および販売店名の記載がある保証書のご提示がない場合
  9. 株式会社エイツーもしくは販売店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合
- 本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合にのみ有効なものとします。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## 弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。



株式会社エイツー

〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 7F

URL : <https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

E-mail : [landevoice@a-2.co.jp](mailto:landevoice@a-2.co.jp)

TEL : 03-5498-7411(代)

受付時間 : 9:30~12:00、13:00~17:00

<土日祝日、その他弊社休業日を除く>

### <お問い合わせ先>

ご購入頂いた販売店または、代理店へお問い合わせください。

### ●保証について

- ・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続や設定が正しく行われているかを確認してください。
- ・保証書に記載されている内容を、よくお読みください。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

### ●必要事項

- ・製品名 (Model)
- ・シリアル番号 (SN)
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、メールアドレス
- ・購入店
- ・購入日付
- ・接続構成
- ・お問い合わせ内容 (症状や状況、ネットワーク環境等を詳細に)